

## 吉田町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会メモ

【日時】：令和6年11月25日（月）13：20～14：40

【会場】：吉田健康福祉センター2階 集団指導室

【参加者数】：8人

□意見交換

### 民谷地区振興協議会

民谷交流センターの建設について。

民谷分校がH24年に閉校。閉校から2年後に地域住民の思いから地域自主組織の拠点として利用することとなった。改修して活用する話をしてきたが、裏山がレッドゾーンであり安全な場所に建て替えようと、平成29年に民谷交流センター建設検討委員会を設立し検討してきた。新しい交流センターで住民は地域の活動拠点として使いたい考えである。避難所機能や高齢者が気楽に寄れる施設にしたいと考えている。今年から道路改良の残土搬入があり、交流センター建設地は県道の高さまで埋め立てられている。来年度も埋立てがあり、交流センターの敷地が確保される。地域からは「いつ建つのか」と聞かれる。進捗はどうか？

市長）敷地造成の工事中である。市内交流センター整備は順に実施している。大東町の幡屋交流センターを先行整備しており来年度実施設計、令和8～9年に建設する。民谷交流センター建設は令和9年か10年頃か明確には言えない。盛土の地盤が安定するまでに期間が必要。令和8年頃には設計に向けた話ができると思う。

### 民谷地区振興協議会

（立替要望提出時の）7年前にはもう少し人口が多かったが、だんだん減り地区人口に見合った規模の建物になると思うので（人口が今より減る前に）早期の整備を願う。

### 吉田地区振興協議会

吉田交流センターも整備要望を市及び議会へ提出している。吉田地区は保育所・小学校・中学校もあり公共施設を集約した施設を整備するよう要望をしている。吉田保育所が高い場所にあるので、低い場所へ整備要望もしたが、ちょうど12月から休園とのこと。しかし、将来的には子どもたちが通える公共の場に整備を進めてほしい。

市長）公共施設を集約は非常に重要なこと。他の自治体でも小学校・中学校を一つの校舎に集約するところが増えている。旧小学校を何に利用するかも検討が必要。総合センターの老朽化課題もあり、皆さんと協議しながらデザインを考えていかないといけない。時間のかかることだが、議論をしないといけないと考えている。財源の課題もあるが、原子力災害時の臨時庁舎や避難時のことも考慮する必要がある。

## 吉田地区振興協議会

環境美化のために、ハンマーナイフモアの貸出要件を幅広くしてもらいたい。市が整備したハンマーナイフモアは傾斜地では使えない。また市の管轄部分（市道）にしか使えない。中山間地域は農耕地の維持が大変である。高齢化もあり土地の管理が難しい。不在者の土地も管理する必要があり地元も苦勞している状況。農業組織が法人化されていない地域はさらに深刻だ。

今年度で中山間地域等直接支払交付金の第5期対策が終わる。この交付金制度は見直しにより来年度からも続くが、地域の意見としては交付金対象の管理地を減らしたい。（地区外在住の）土地所有者に地域住民だけでは管理できないと伝えたい思いもあり、年数回でも草刈りし、景観保全してもらいたい。その際市からの補助等があれば、土地所有者に連絡するきっかけになる。地元から土地所有者に対して指導的に言えるような条件（施策）を整えてほしい。所有者の管理で最小限景観保全できるような補助（ハンマーナイフモア貸出しや補助金）を整えてほしい。

総合センターでいろいろ対応できるようにしてもらえると良い。中山間交付金の切り替えのタイミングでできないか。

市長)草刈り機（ハンマーナイフモア）は試験的に導入したもの。運用しながら工夫していく。ご意見にどこまで柔軟に対応できるか検討したいが、建設部が整備したものを農林系の取り組みで使えるかは一旦整理したい。持ち帰り検討する。

中山間直払において、土地の管理はどこまでをもって管理というのか、粗放的利用をどこまで管理というのか。緩衝地帯として草刈りに位置付ければ区域内となる。手をかけずに交付金の対象地域に入れる方法もある。先日、岡山県美作市へ視察に行った。市長と話したところ、同市では、多面的機能交付金を市で一本化して（市内1協定）取り組まれている。そうすることで対象面積が拡大し交付金も多くなり草刈り機を導入していた。事務負担が大きいため多面的の取り組みを辞められる地域もあるが、一本化で面積確保、交付金確保し必要な機械を購入することもできる。面積を再拡大させながら交付金を使っていくことも検討しないといけない。耕作をやめるとすぐには作る人が見つからない。昔の農業公社のような一時的に農地の借受管理する仕組みが作れないか考えている。ハードルは高いがまず農地を守る必要がある。中山間地域ではいかに土地の継承をスムーズにやっていくか。農地を守る仕組みを構築したい。

## 吉田地区振興協議会

多面的機能支払交付金については、まだ地域への説明が始まっていない。粗放的管理でも対象地となるなら取り組みたい。農業公社のような仕組みを作っても民間ではコーディネートできる人材がいらない。行政が入らないと続かない。

中山間直接支払制度、保全管理をしているが交付金の事務をする人材がいらない。地域自主組織で体制が構築できればいいが事務人材確保が必要だ。

市長)美作市では、事務処理を市で行い交付金の1割を市がもらっている。現場写真は地元で、書類手続き（申請と実績報告）は市で行っている。これは地域も参加しやすい方法でよい仕組みだと思い視察から帰った。雲南市でもできないか検討している。農地の施設修繕も面積が増えるので計画的にできる。

参加者一同

ぜひ進めてほしい。

吉田地区振興協議会

農地を手放したい人が農業公社へ預けると耕作放棄地の増加を加速させる可能性があるのでは。永代供養のようにみんなお任せするのはいいかもしれないが。

市長) 農地を集約することで次の人に引継ぎやすくなる。農業公社で維持する場合も米作りを体験してもらい自活したい人に事業継承できないかと考えている。農地の再生につなげたい。

吉田地区振興協議会

農業公社は人を育てる仕組みがないと続かないと思う。

市長) 事業を継承させる仕組みだと思っている。

吉田地区振興協議会

市職員も農業に関心のある方を採用するとか。農業公社がしっかりすると皆が頼ってしまうかもしれないが、今は地域で助け合いながら農地を維持できている。70歳以上が携わっており10年先も20年先も携われる人はいない。5年先が心配。農地を守っていききたい気持ちはある。

田井地区振興協議会

太陽光発電が農地にできることに不安がある。発電のために土地を売って欲しいという事案も増えている。自宅の郵便受けに業者からのチラシが入っている。

市長) 太陽光発電建設による農地転用申請が多く出ている。

民谷地区振興協議会

稲わら工房が(株)田部に譲渡となったが、隣接の公衆トイレはどこが管理しているのか?管理が悪く改善を求む。瑞風バスが来て観光客が利用されるが汚く印象が悪い。

市長) その件については承知した。担当課へ伝える。

田井地区振興協議会

昨年、猿の大型捕獲檻を設置してもらい昨年5月から半年間の設置で、12頭捕獲できた。今年は木次で設置され次は三刀屋とのこと。田井へ再び設置されるのはいつ頃か。大型檻を増やしてもらいたい。併せて専任スタッフをつけてもらわないと地元では管理できない。

市長) 大型檻は一定の効果があるが餌付けに手間がかかる。捕獲した猿は首輪をつけて行動調査をしており、どういう範囲で駆除するか検討している。最近小型檻にも掛かることがわかったので、設置管理の手間と効果を検証している。最終的な形が決まればお知らせしたい。サル、シカ駆除については、地域おこし協力隊1名を配置し対応している。(地域おこし協力隊終了となる)3年後の活動方法について協議している。駆除専門官にできるといい。猟友会のみなさんも苦勞されており整理しながら対応したい。大型檻の管理手間が減ると良い。イノシシ檻でサル捕獲の実験をしているところ。

#### 田井地区振興協議会

県道 269 号線と上山農道と交換ができないか。地元ではハートフルロードで県道を管理している。上山農道が改良され住民は県道を通らなくなった。農道管理は多面的機能交付金のお金を使って管理している。私案だが県道と交換できれば良いと思う。昔は車通りも多く、通学路だった。

市長) 県道 269 号線を全く使わなければ良いが、269 号線の管理もしないといけないので難しいのではないかと。研究させてほしい。災害時の復旧などの取り扱いのこともある。基本事項がクリアできれば交換も可能かもしれない。地域の同意も必要だ。広域道路を市がもらうこともある。大仁農道をももらったが、現在大規模な土砂崩れで通行止めとなり、復旧工事は市でやることになっている。奥出雲の方が多く使っている道路ではあるが。

#### 吉田地区振興協議会

主要地方道掛合上阿井線の改良と人口減少対策について。

人口が減る中、人の動きを作るには公共事業が有効だ。公共事業ができそうなのは主要地方道掛合上阿井線の改良だが、現在の状況は？ 再開すれば賑わいになるのでは。

市長) 正確なことは今答えられない。

#### 吉田地区振興協議会

小規模特認校について。

吉田町内小中学校は小規模特認校になる。大規模学校から吉田の学校に来ることができるようになるが、動きがあるのか（転校する児童生徒はいるのか）？

市長) 現在周知期間中であるが希望はまだない。一人、二人のところから口コミで広がってくれば。まず制度として導入した。将来的には田舎留学の小中学校版も取り組みたいが、宿舎の課題がある。うまくいけばそのような取り組みにつながられる。今、民泊が最も注目されている。先日台湾へ行った際の話だが、民泊で 100 人受け入れてもらえれば台湾から日本へ来るとのこと。都会ではなく日本の田舎らしいところでの交流が求められている。4 人ずつ 20 軒あれば良い。ある程度の民泊受け入れができると将来に期待できる。

#### 吉田地区振興協議会

教職員住宅について。

吉田保育所の近くに教員住宅があるが、現在は教員でない方が一人住んでいる。教員住宅は必要なものか？6 つくらい部屋があるのにもったいない。民泊として使っても良いのでは。1 週間のステイなど少しの期間の利用は可能か？

吉田総合センター所長) 旧吉田村で整備したもので現在雲南市所有。最近は先生が利用されないため、空き部屋は教育委員会の許可により使用して（宿泊されて）いる。高速道路工事中は関係者が使っていた。現在利用要望がない。需要があれば教育委員会と協議したい。

## 民谷地区振興協議会

空き家での民泊について。

民谷では夏休みに東京から親子（中学生）が2週間ほど滞在された。父親はリモートワーク。中学生はテレビもない環境でも勉強していた。まだ使える空き家もある。そこを整備して利用してもらおう。様々な方が来られる際に「少し生活してみてもいい」と勧められる環境があるといい。家賃をもらおうとは思わないが、まず生活してもらいたい。郊外では生活するために車がないと難しいなどハンデはある。避暑地としてなど田舎暮らしを体験してもらい移住に繋がらないかと期待している。

市長）空き家改修費については、観光目的であれば補助金もある。木次町では出資を募り改修レンタル事業を行おうとしている。「オトナリ」を利用し取り組んでいる。対応していく道筋が見えつつある。

土地開発公社でも検討をしているが、採算性の問題でできていない。山間地では販売しようとしてもニーズに合わないこともある。水回りの改修が必要な場合など修繕がかなり必要となり敬遠される。空き家になって間もない物件情報が必要。

## 吉田地区振興協議会

空き家になってから何年も経つとすぐに傷む。空き家の情報を我々も集めていかないといけない。

先日の大雨時、避難者はなかったが対応体制をとっていた。近年河川の底が浅くなっており、昨年市議にも現場を見てもらった。11月の大雨でまた土砂が溜まり浅くなった。田まで水が上がりやすい状況。県に要望もしているが予算がなく土砂を取ってもらえない。

梅木集会所の前約200mは非常に溜まっている。対策をしてほしい。田へ取水するのも困っている。

市長）河川の浚渫については多数要望をもらっている。地域要望いただくと、雲南県土整備事務所へつなげる。河川断面の基準もあり浚渫とはならない場合もあるが、県は一定基準のもと取り組んでいる。度々でも（要望を）いただきたい。市から県へ働きかける。河川に草が生えているのは河川断面を阻害してないので難しいが、土砂だと河川断面に影響してくる。

## 民谷地区振興協議会

宇山でも11月2日の大雨時は、時間雨量は多くなかったが令和3年7月以来、田に川の水が入ったところがあった。以前から市に浚渫要望をしておき、建設業者から土砂の仮置き場があればすぐできると聞いていたのにまだ対応されてない。何年も要望している箇所。

市長）11月の大雨は降り始めからの雨量はこれまで雲南市で最大規模だった。24時間雨量では過去一番多く降った地区もあり災害箇所も多数あった。12月補正で対応していく。依頼の箇所については総合センターを通じて要望いただきたい。

## 民谷地区振興協議会

大雨時の民谷の避難指示について

民谷地区は170ミリの雨量、吉田・田井地区はレベル3。民谷では（避難所開設に向け）待機していたが結果避難指示はなかった。同じ雨量だったが避難指示はなく基準がよくわからないが避難指示がなくて良かった。

市長) 土砂災害の危険性により避難情報が出る。この吉田地域は 24 時間雨量 230mm 程度。民谷地域はスポット的に雨量が少なかったため避難指示は出なかった。

#### 民谷地区振興協議会

##### 11 月の大雨時の 54 号通行止区間について

国道 54 号が三刀屋町乙加宮から掛合町掛合までの区間で通行止めとなった件でう回路の問い合わせが交流センターにあった。

市長) 高速道路が 4 車線化されるとストップしない。国道 54 号まで止まるとう回路がないので、改良について国交省に要望をしているが、有料道路が優先されるとのこと。松江道の無料から有料化の話もあるが慎重に話を進めたい。54 号は飯南町・三次市と期成同盟会を結成し雨量による通行規制撤廃の要望をしている。晴雲トンネル改修の要望もしている。

#### 民谷地区振興協議会

##### 有害鳥獣駆除の報奨金について

猪の駆除報償金が通年で出るようになり猟友会の方も喜んでおられる。

##### シカ駆除について

駆除期間、猟期間とも同じ単価だ。シカがかなり吉田で繁殖しているよう。県から罠を 50 基買ってもらい、20 基吉田で設置し緊急捕獲している。冬にシカが植林の桜などの皮を食べて枯らす。飯南町ではヒノキ、雑木の皮が山ごと食べられて枯れている。吉田でもその被害が出始めた。

市長) 飯南町と合わせた。狩猟期間も報奨金が出るようにした。通年出るようになった。

昨年、掛合町でも緊急駆除したがシカ 1 頭が捕れたのみだった。対策は講じないといけない。シカ肉はジビエとして非常に人気が高い。槻之屋の KANUKA さんによると良い値で売れるため全て東京方面へ販売しているとのこと。有害鳥獣が収入源に変わっていけば、捕る人が増えてくるのでは。

#### 民谷地区振興協議会

シカ用のくくり罠を仕掛けるとイノシシも錯誤で取れることもある。シカの通り道に仕掛ける必要があるが、同じ獣道であるためクマが掛かることもある。クマもいるのでなかなか山中に罠を仕掛けられない。クマも頭数が増えているので安心して歩けない。

市長) クマは県が管理している。錯誤捕獲された場合、放獣するのをやめてほしいと述べたこともあるが、このところでクマの生息調査も行うとのこと。

#### 田井地区振興協議会

##### ガソリンスタンドについて

田井地区にはガソリンスタンドがない。簡易版のスタンドもあるとのこと調べたところ、ガソリンは 200ℓ以下でないといけないという制約があるとのこと。制約のないものがないか調べてもらいたい。

市長) 灯油とガソリンどちらが困られるのか。農業用のガソリンと家庭用の灯油がほしいと聞いている。調べてみたい。

田井地区振興協議会

季節によっては軽油も必要になる。吉田町にはガソリンスタンドが2箇所あるが、そろそろ地下タンクの寿命が来るのでは。

吉田地区振興協議会

地下タンクには寿命がある。いずれタンクの老朽化が問題になる。吉田はだんだん車も少なくなっている。若葉マークではなくシルバーマークばかり。需要が少なくなると、ガソリンスタンドを廃業してしまうかもしれない。

田井地区振興協議会

交流センターに簡易版ガソリンスタンドを置いて、地区での給油体制を整えたいが。

民谷地区振興協議会

地域自主組織の公用車について

民谷地区は地域自主組織がリースした車両を運行しており需要が高い。外出支援だけでなく毎週木曜日に健康体操をしており、リース車で送迎している。声掛けをすると乗ってもらえる。リースの活動車は地域活動で有効である。診療所に行くこともできる。今のうちからやっていかないと将来厳しい。

月約5万円でリースしている。あとはガソリン代。

吉田地区振興協議会

交流センターには公用車がない。会議で木次や三刀屋に出ないといけませんが。

木ノ下から鷹巣への道路改良について、掛合川上線はどのような状況か。

市長) 現在、改良整備中。

14:40 終了